

みずほCustomer Desk Report 2018/01/22号(As of 2018/01/19)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	111.11 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.04	1.2235	135.84	1.3894	0.8006
SYD-NY High	111.13	1.2295	136.04	1.3945	0.8038
SYD-NY Low	110.49	1.2215	135.20	1.3837	0.7983
NY 5:00 PM	110.84	1.2224	135.51	1.3853	0.7985
NY DOW	26,071.72	53.91	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	7,336.38	40.33	日本10年債	0.0800	0.00bp
S&P	2,810.30	12.27	米国2年債	2.0669	2.55bp
日経平均	23,808.06	44.69	米国5年債	2.4517	3.44bp
TOPIX	1,889.74	12.88	米国10年債	2.6602	3.74bp
シカゴ日経先物	23,860	60.00	独10年債	0.5670	▲0.30bp
ロンドンFT	7,730.79	29.83	英10年債	1.3370	0.75bp
DAX	13,434.45	153.02	豪10年債	2.8360	4.95bp
ハンセン指数	32,254.89	132.95	USDJPY 1M Vol	7.40	0.23%
上海総合	3,487.86	13.11	USDJPY 3M Vol	7.83	0.15%
NY金	1,333.10	5.90	USDJPY 6M Vol	8.08	0.13%
WTI	63.37	▲0.58	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	195.50	▲0.84	EURJPY 3M Vol	8.35	0.05%
ドルインデックス	90.57	0.07	EURJPY 6M Vol	8.45	0.04%

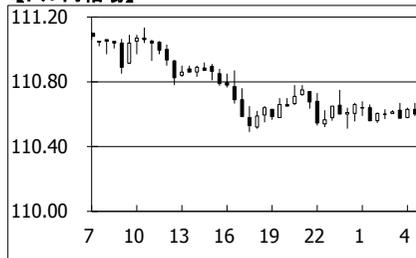
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月19日	18:30	英 小売売上高(前月比)	12月 -1.6%	-1.0%
1月20日	0:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・速報	1月 94.4	97.0
1月20日	3:00	米 クオールズ・FRB(金融規制担当)副議長、金融機関に対する規制負担の軽減案を提示		
1月20日	3:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁「今年3回の利上げは理にかなっている」		

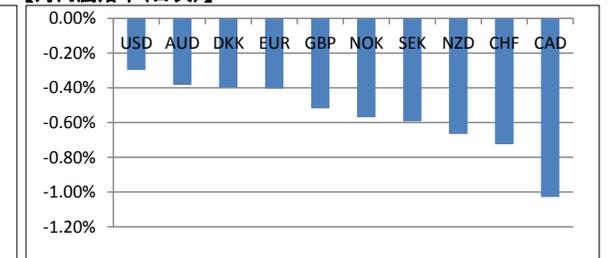
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月22日	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月 0.22	0.15

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.50	1.2200-1.2350	135.00-136.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外市場は、米政府閉鎖懸念が継続したことやミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を下回ったこと等を背景にドル円は軟調に推移。しかし、引けにかけては、米金利そして株が上昇する中、買戻しが入り、110.84円レベルでクローズ。本日については、週末に決まった政府の一部閉鎖の影響を見極めつつ、下落する場合は1月17日の安値である110.19円を抜けるかがポイントとなるであろう。

東京	東京時間のドル円は111.04レベルでオープン。米政府機関閉鎖のリスクが意識されるなか、アジア時間序盤にドル円は110円台へ下落。その後、米下院が暫定予算を可決したことや日本株の上昇がサポート材料となり111.13まで反発する場面もあったが、次第にドルが全般的に上値を重くし、日経平均株価も上昇幅を縮小する展開に110.78まで反落。110.87レベルで海外市場に渡る。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は下落した。110.87レベルでオープン。米下院は18日政府機関閉鎖の回避に向け2月16日までのつなぎ予算案を可決し、上院に送られた。しかし、上院の通過には60票が必要のため(定数100、与党共和党51議席)、19日の期限切れを目前にする中で政府機関閉鎖への懸念が高まりドル軟調地合いとなった。これに本邦1月月例経済報告で景気は穏やかに回復と総括判断が7か月ぶりに上方修正されたニュースが加わりドル円は110.49まで円買が進み、110.68レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは下落。1.3910レベルでオープン。英12月小売売上高指数が前月比で-1.5%となり、ブラックフライデーの販促に合わせたクリスマスに伴う支出の多くが11月に前倒しされ、月間ベースで国民投票にてブレグジットが決定した2016年6月以来の大幅下落となったことや日本景気回復期待からのポンド円の下落などを背景にポンドは安値1.3857を付けた。1.3867レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 179ポンド・トルフリー 西海)
ニューヨーク	海外時間のドル円は、米下院暫定予算可決を受けて高値111.13まで上昇したが、本邦1月月例経済報告で日本政府が景気判断を上方修正したことや、米紙が日銀は2年以内のインフレ率2%に対して楽観的な見方との内容の記事を出したとの話に円買いが強まり安値110.49まで下落し、110.68レベルでNYオープン。朝方発表された米1月ミシガン大学消費者信頼感が予想を下回ったことから、ドル売りが強まり110.51まで下落。しかし海外時間安値の110.49が意識されたことや、米上院での暫定予算案採決を控えた水準では下げ止まった。午前11時から上院採決が始まるとの報道もあったが、可決に必要な票が取れないとの見方から採決が遅れ、「トランプ大統領がシュマー民主党上院議員と暫定予算について会談」と伝わり、様子見ムードからドル円は110.60付近での推移が続いた。午後は会談終了後にシュマー上院議員の「暫定法案についてはまだ話し合わなければならない」との発言が伝わったが、市場の反応は限定的となった。その後は週末を控えたポジション調整もあり、ドル円は110.85まで上昇し、110.84レベルでクローズした。なお、上院の暫定予算採決期限は19日のNY時間真夜中までとなっている。一方ユーロは1.2257レベルでNYオープン。上値の重いユーロ円を横目にユーロドルもじり安の推移が続き安値1.2215まで下落し1.2224レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・鶴田